

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記検査項目におきまして、非小細胞肺癌のEGFR変異陽性に対する「ライブリバント®点滴静注350mg（一般名：アミバンタマブ（遺伝子組換え）」と「ラズクルーズ®錠80mg/240mg（一般名：ラゼルチニブメシル酸塩水和物）」との併用療法のコンパニオン診断薬として適応追加の承認が取得されました。

上記に伴い、検査内容の変更をご案内いたします。

健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

- 変更日 総合検査案内書 2026年 1月 20日（火）より
検査結果報告書 2026年 1月 20日（火）報告分より

■ 対象項目

項目コード (旧項目コード)	項目名
OOT70 4 (OT70 1)	肺がんコンパクトパネル(7遺伝子) CDx
OOT74 0 (OT74 1)	肺がんコンパクトパネル(7遺伝子) 研究用



■ 変更内容：総合検査案内書

総合検査案内に記載のある以下の一覧表に、下記太文字部分を追加いたします。

<対象遺伝子変異等と関連する医薬品および適応がん腫>

遺伝子変異等	がん腫	関連する医薬品
<i>EGFR</i> 遺伝子変異	非小細胞肺癌	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩、 アミバンタマブ（遺伝子組換え）及びラゼルチニブメシル酸塩水和物
<i>BRAF</i> 遺伝子 V600E 変異		ダブラフェニブメシル酸塩及びトラメチニブジメチルスルホキシド付加物
<i>KRAS</i> 遺伝子 G12C 変異		ソトラシブ
<i>ALK</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ、アレクチニブ塩酸塩、プリグチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		クリゾチニブ
<i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異		テポチニブ塩酸塩水和物
<i>RET</i> 融合遺伝子		セルペルカチニブ

■ 変更内容：検査結果報告書

2026年 1月 20日（火）報告分より、検査結果報告書の「変異陽性の場合に使用可能なコンパニオン対象薬剤リスト」に薬剤名を追加いたします。

対象遺伝子：*EGFR*遺伝子変異

新	現
ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩、 アミバンタマブとラゼルチニブの併用療法	ゲフィチニブ、エルロチニブ塩酸塩、アファチニブマレイン酸塩、オシメルチニブメシル酸塩